

栗田工業株式会社

2017年3月期 第3四半期決算説明会

(証券コード: 6370)

I 2017年3月期第3四半期実績

II 2017年3月期通期計画

III 重点施策の進捗について

I. 2017年3月期第3四半期実績

1. 業績ハイライト
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
3. 水処理薬品事業
4. 水処理装置事業(電子産業向け)
5. 水処理装置事業(一般産業向け)
6. サービス事業売上高
7. 海外事業売上高
8. 設備投資・減価償却費・研究開発費
9. 財政状態

1. 業績ハイライト

(億円)

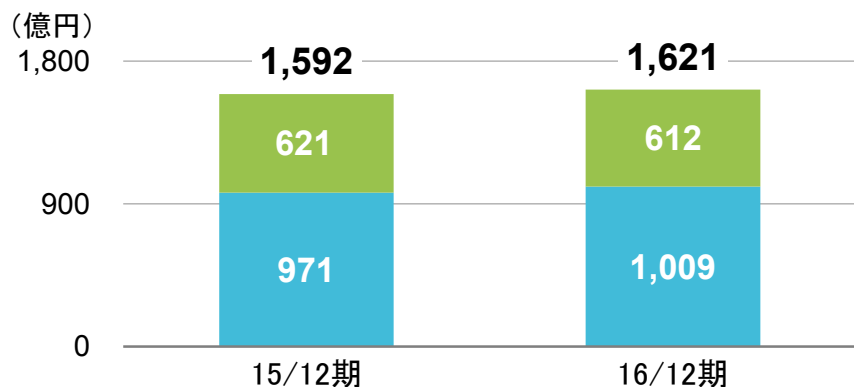
	2015/12期	2016/12期	前年同期比
受注高	1,592	1,621	+ 1.8%
売上高	1,489	1,521	+ 2.2%
営業利益	140	136	- 2.8%
経常利益	147	141	- 4.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	93	101	+ 8.9%

- 受注高と売上高は、水処理装置事業の伸びにより増加。
- 営業利益は、水処理装置事業の減益により減少。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に税率の低下により増加。

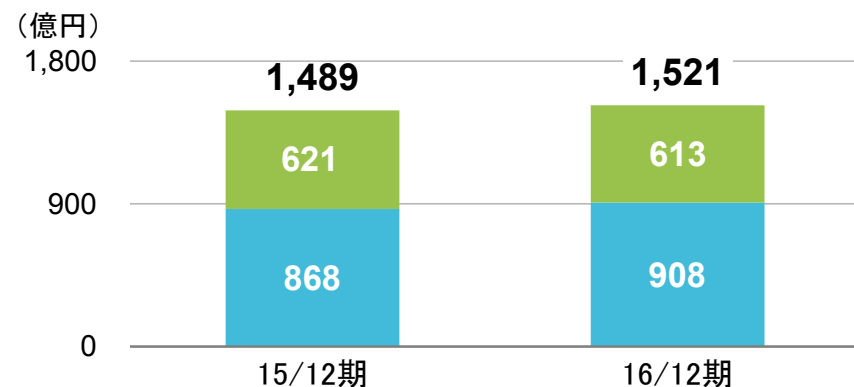
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率



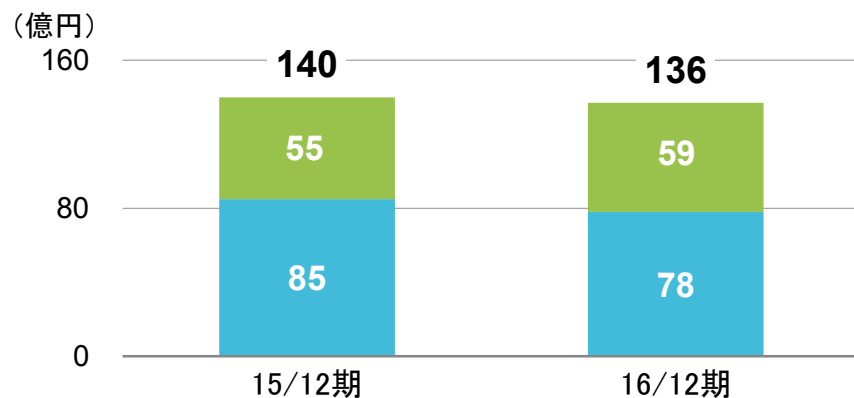
受注高



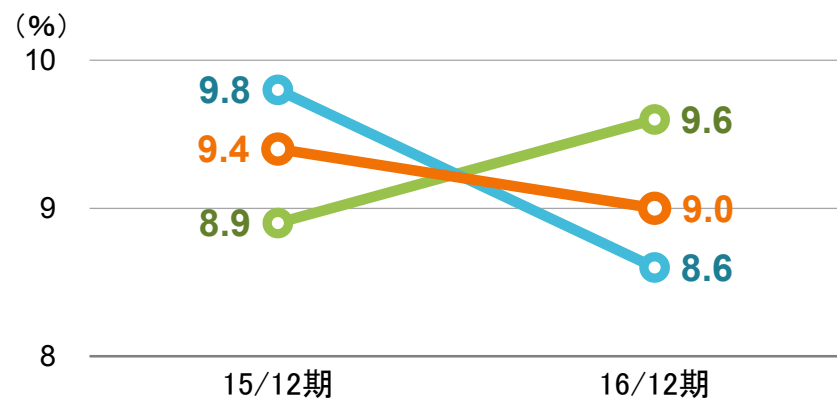
売上高



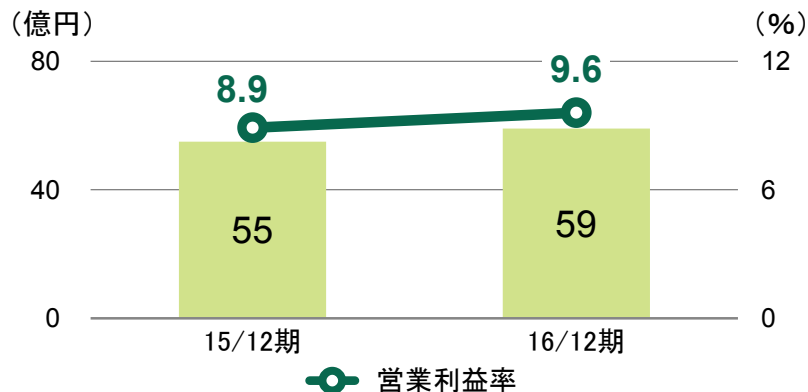
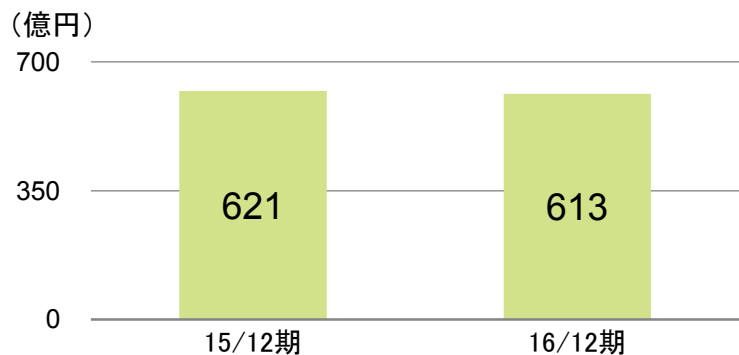
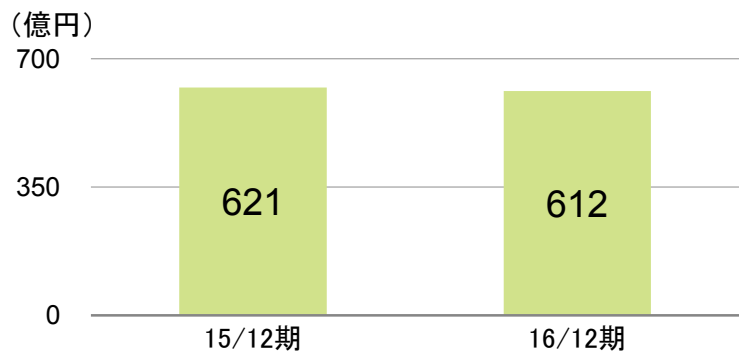
営業利益



営業利益率



3. 水処理薬品事業



受注高

- 国内は新規開拓により伸長。
- 海外は現地通貨ベースで伸長するも、円高による円換算額の目減りにより減少。

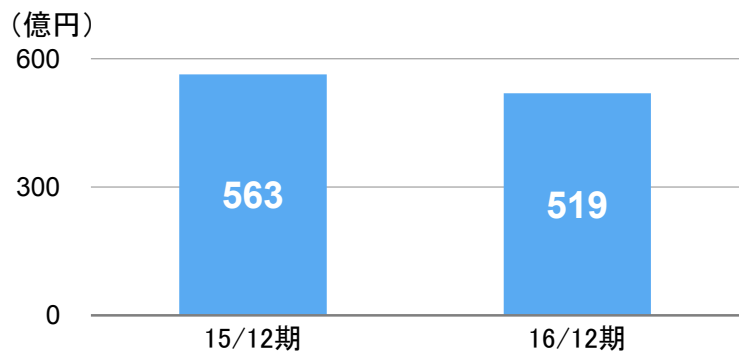
売上高

- 同上

営業利益

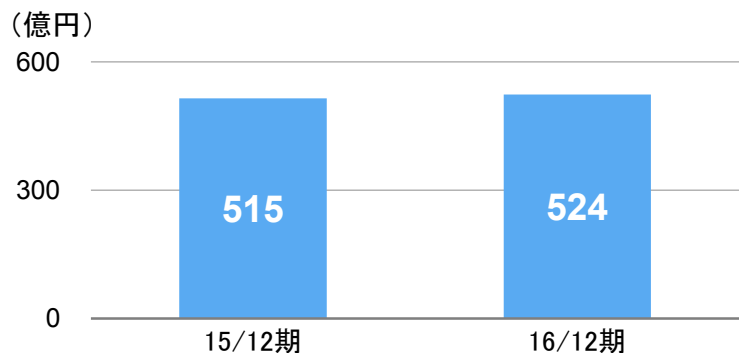
- 前年同期にあった欧州事業買収のPPAに伴う一時的な費用の消滅。
- 販管費の減少。

4. 水処理装置事業（電子産業向け）



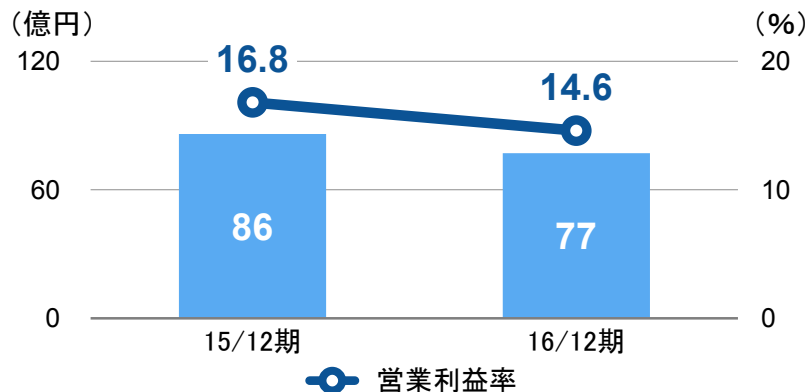
受注高

- 国内ハードが大型案件受注により増加。
- 中国・台湾向け海外ハードの減少。
- 超純水供給事業は、契約期間満了や契約変更により減少。



売上高

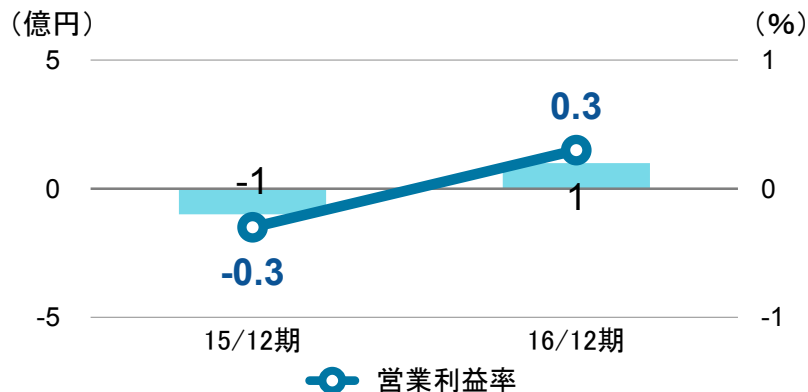
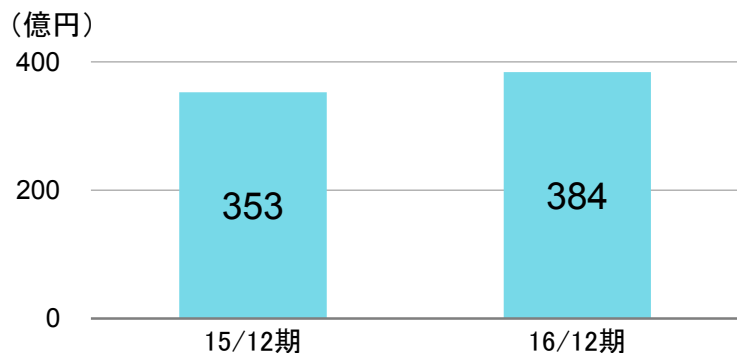
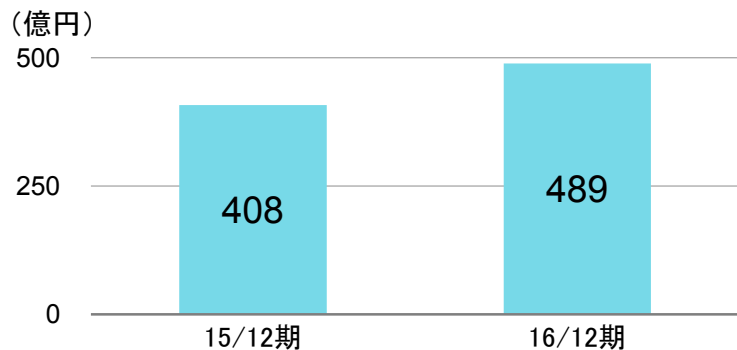
- 中国・韓国向け海外ハードが順調な工事進捗により増加。
- 超純水供給事業は、契約期間満了や契約変更により減少。



営業利益

- 超純水供給事業の減収やコスト増によるマイナス。
- 海外ハードの増収と採算改善によるプラス。

5. 水処理装置事業（一般産業向け）



受注高

- 火力発電所向け水処理装置と土壌浄化で大型案件を受注。
- メンテナンスが老朽化対応や効率化需要を取り込み増加。

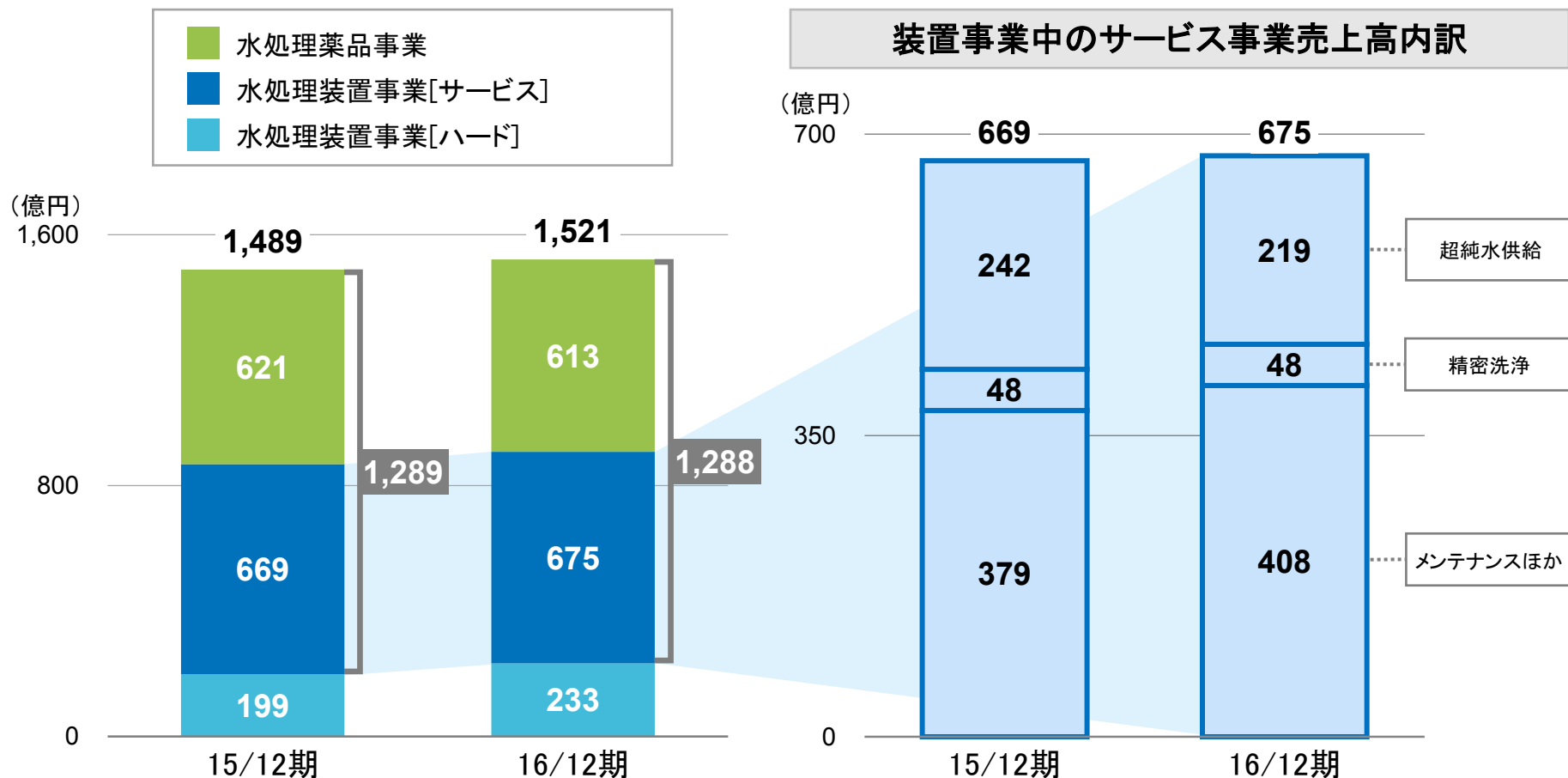
売上高

- 電力向けハードが減収。
- 一般産業向けハードとメンテナンスが順調な工事進捗により増収。
- 土壌浄化が増収。

営業利益

- 電力向けハードの減収によるマイナス。
- 一般産業向けハードとメンテナンスの採算改善によるプラス。

6. サービス事業売上高



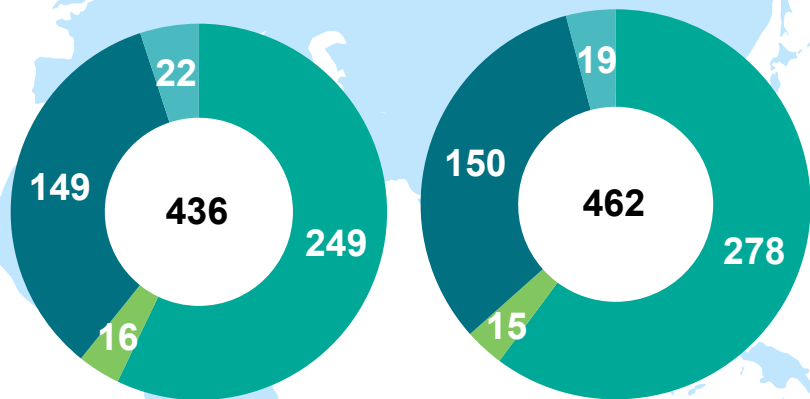
- 水処理薬品事業と超純水供給事業が減収。
- 土壌浄化と一般産業向けメンテナンスが増収。

7. 海外事業売上高

海外地域別売上高

■ アジア ■ 北米 ■ EMEA(旧欧州) ■ その他

(単位:億円)



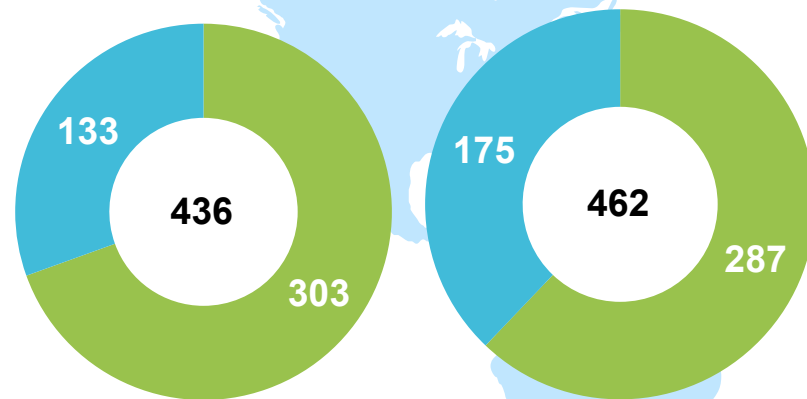
15/12期

16/12期

海外事業別売上高

■ 水処理薬品事業 ■ 水処理装置事業

(単位:億円)



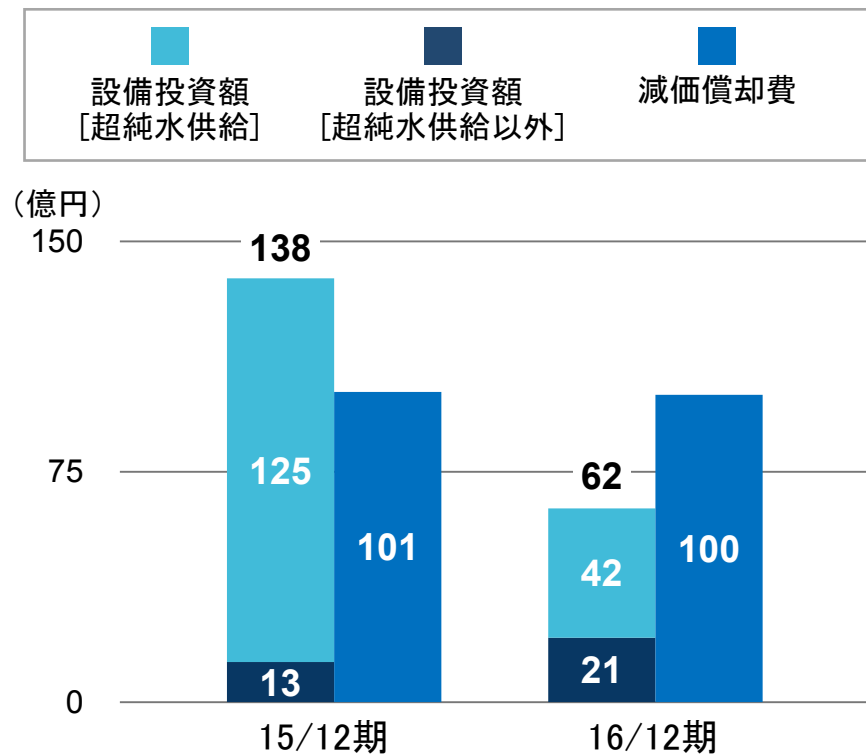
15/12期

16/12期

- 水処理薬品事業は、現地通貨ベースで伸びるも円高による円換算額が目減りにより減収。
- 水処理装置事業は、電子産業向けハードの工事進捗により増収。

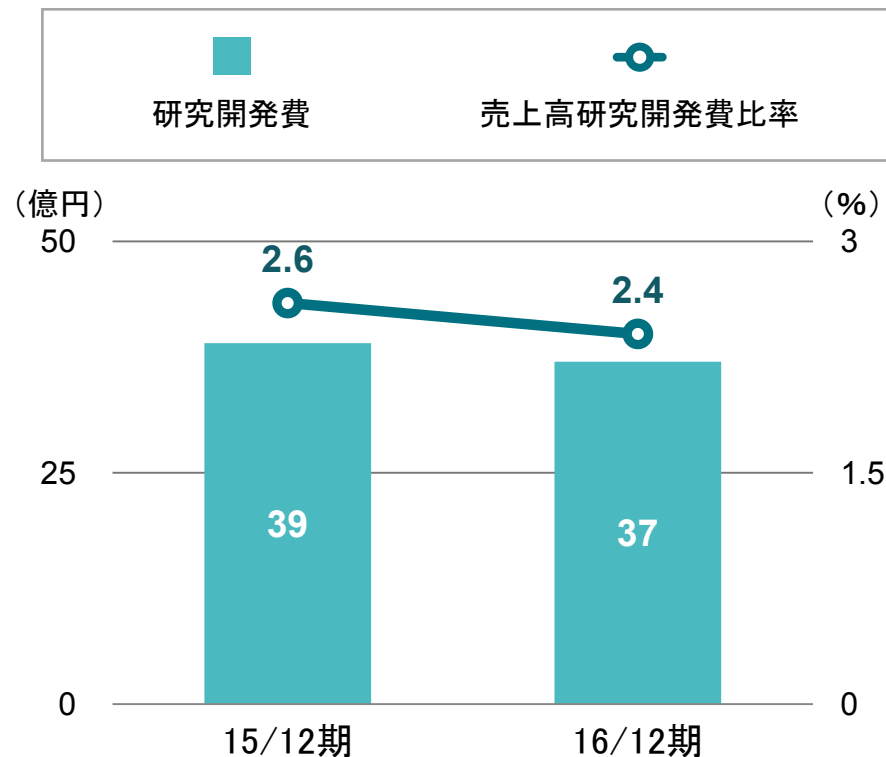
8. 設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資・減価償却費



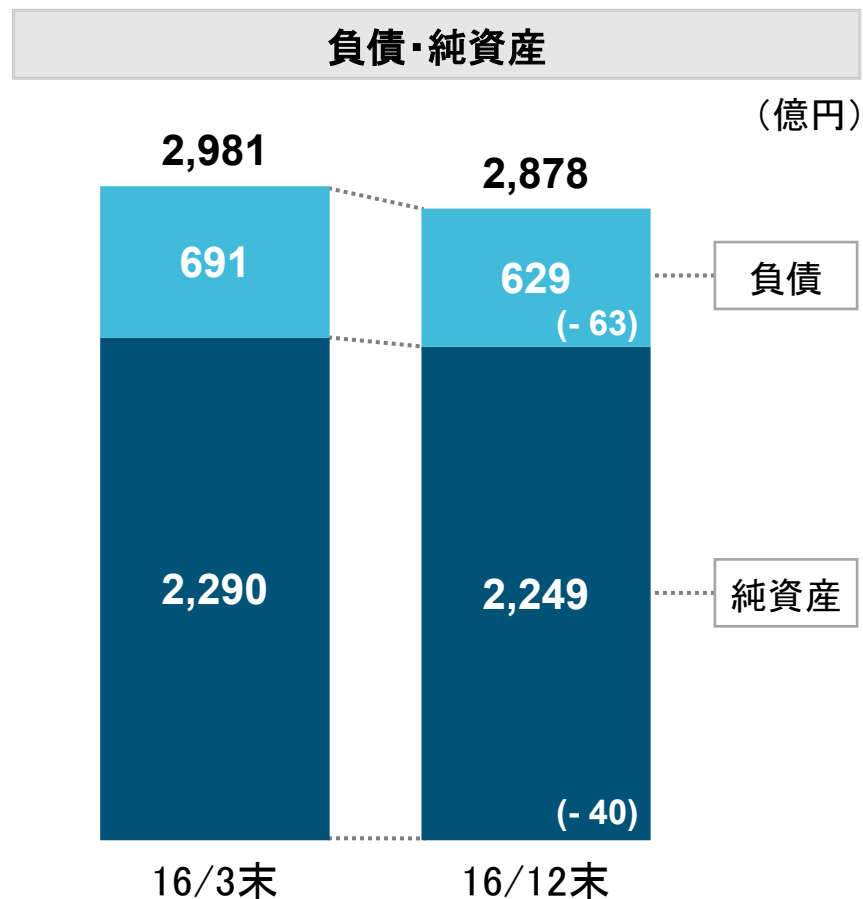
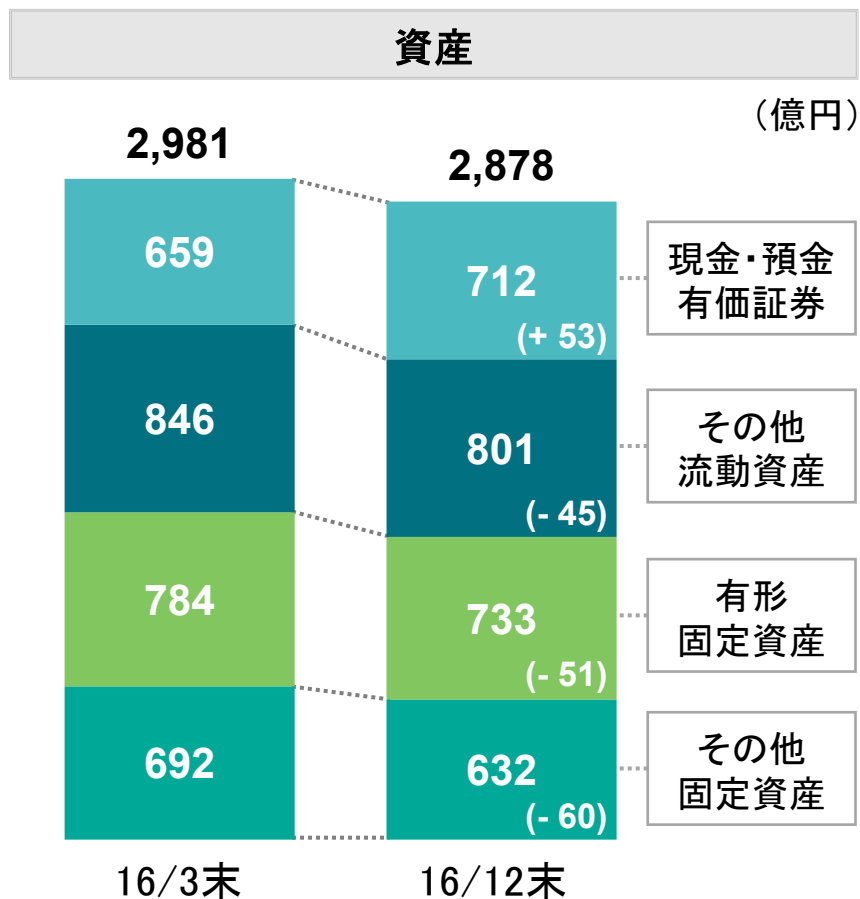
■ 超純水供給事業の設備投資は減少。

研究開発費



■ 概ね期初計画に沿った進捗。

9. 財政状態



- 超純水供給事業用設備の減価償却費が設備投資額を上回り、有形固定資産が減少。
- 投資有価証券の含み益減少により、投資その他資産とその他有価証券評価差額金が減少。

Ⅱ. 2017年3月期通期計画

1. 総括
2. 受注高・売上高・営業利益
3. サービス事業売上高
4. 海外事業売上高
5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

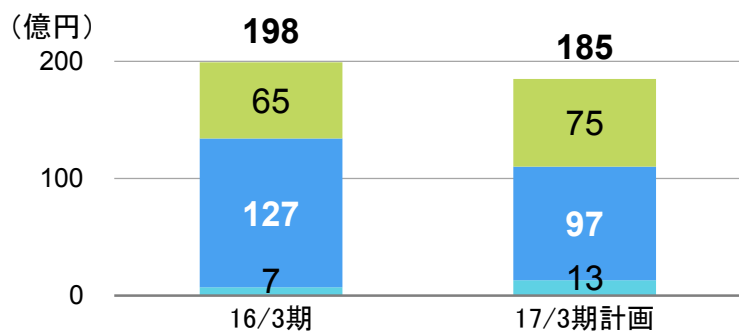
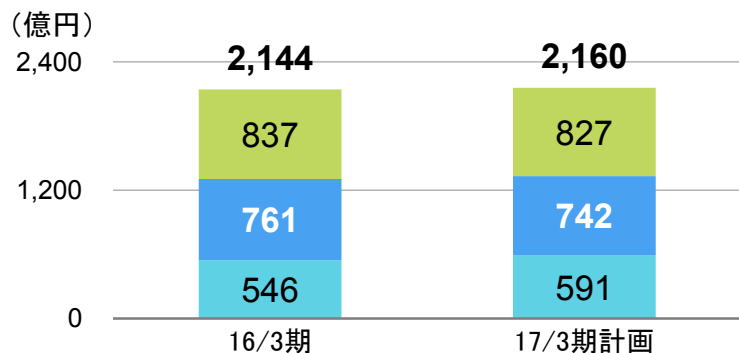
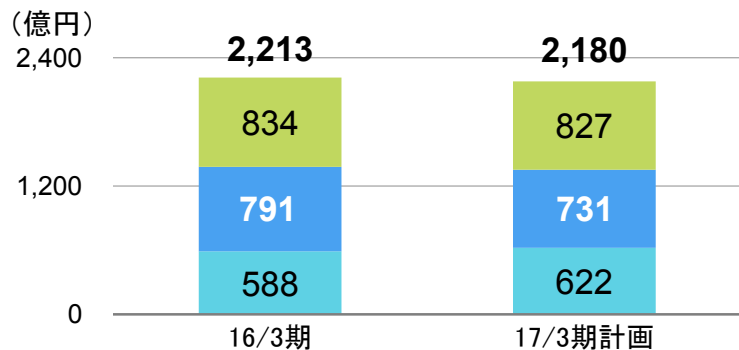
1. 総括

(億円)

	2016/3期 実績	2017/3期 計画	前期比	2017/3期 期初計画
受注高	2,213	2,180	- 1.5%	2,230
売上高	2,144	2,160	+ 0.8%	2,220
営業利益	198	185	- 6.7%	215
経常利益	204	190	- 7.0%	220
親会社株主に帰属する 当期純利益	126	120	- 4.6%	140

■ 第2四半期決算発表時に見直した計画を据え置き。

2. 受注高・売上高・営業利益



受注高

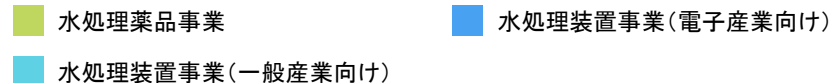
- 水処理薬品は、海外向けが円高による目減りで減少。
- 電子産業向け水処理装置は、超純水供給事業と海外向けで減少。
- 一般産業向け水処理装置は、ハード・メンテナンスともに増加。

売上高

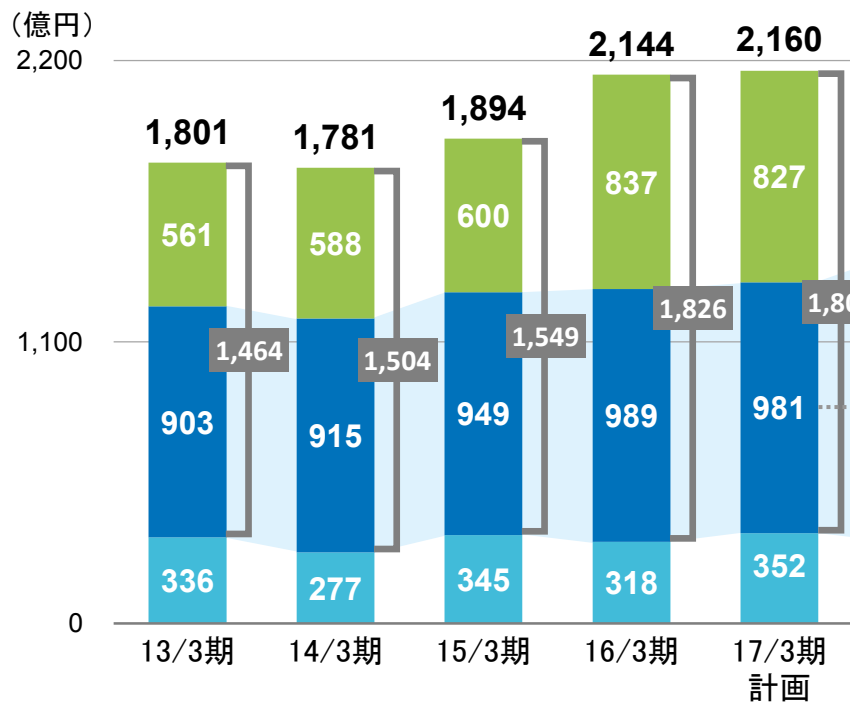
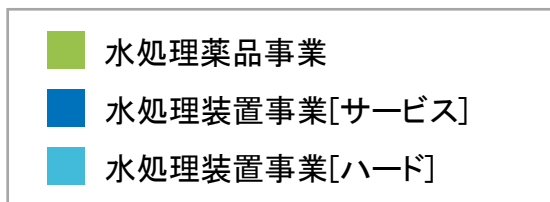
- 水処理薬品は、海外向けが円高による目減りで減少。
- 電子産業向け水処理装置は、超純水供給事業が減少。
- 一般産業向け水処理装置は、メンテナンス中心に増加。

営業利益

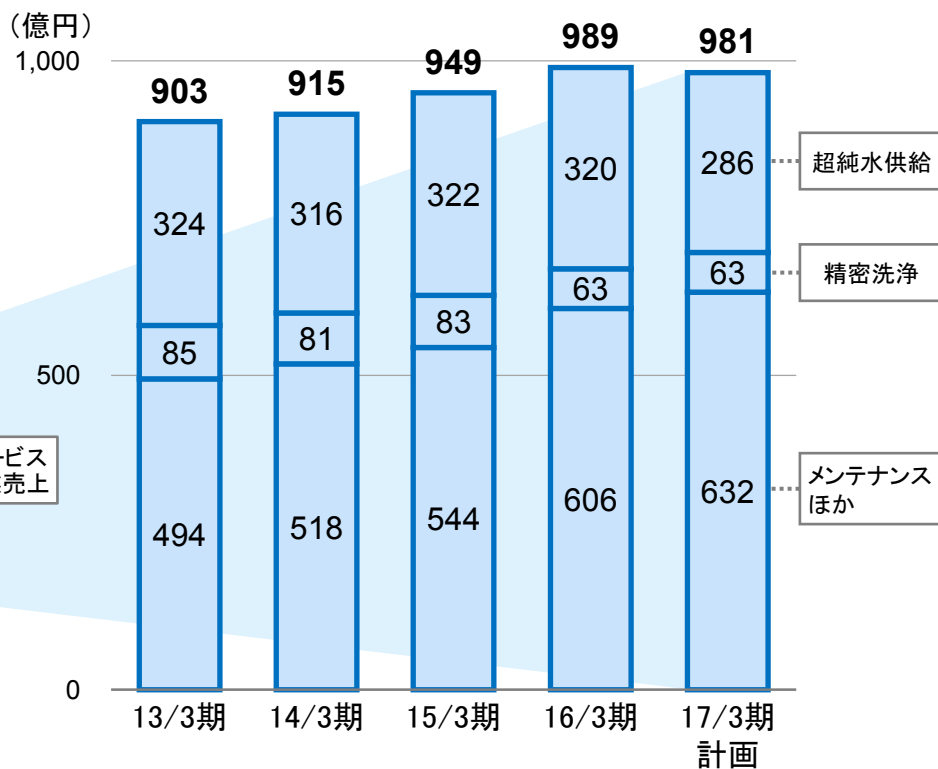
- 水処理薬品は、原価率が改善し増益。
- 電子産業向け水処理装置は、超純水供給事業の減収により減益。
- 一般産業向け水処理装置は、主に増収効果により増益。



3. サービス事業売上高



装置事業中のサービス事業売上高内訳

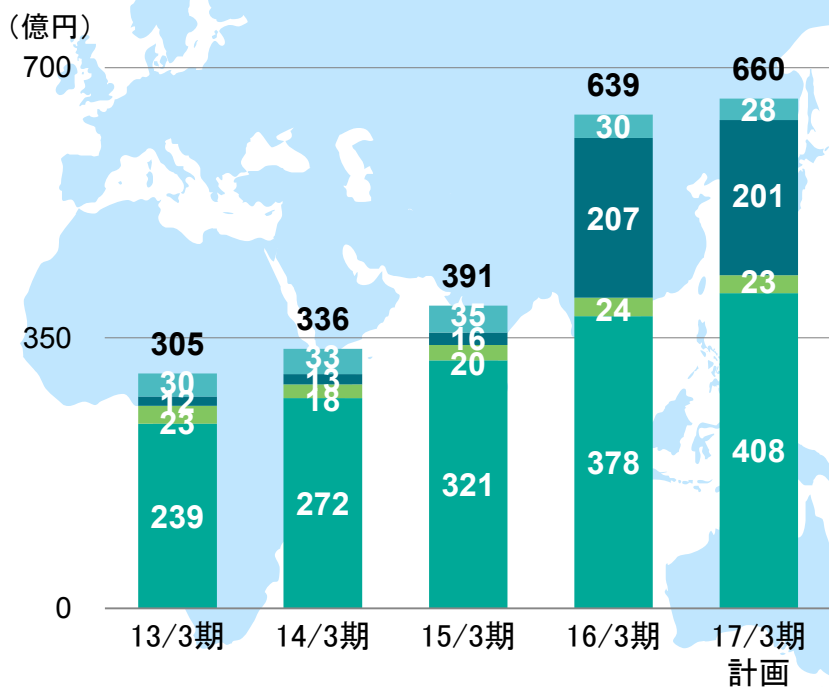


- 超純水供給事業は減収の見込み。
- 国内メンテナンスと土壌浄化は堅調に推移する見込み。

4. 海外事業売上高

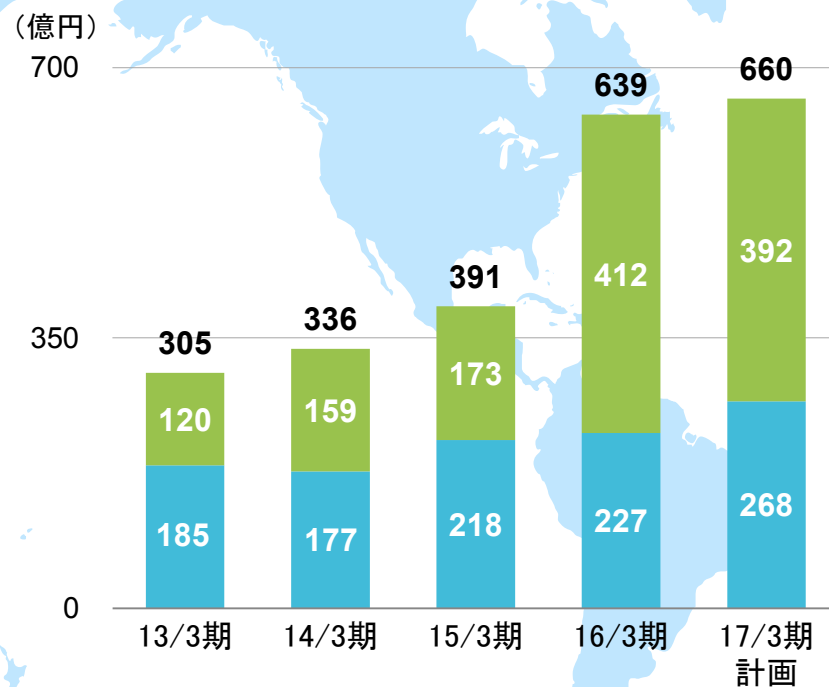
海外地域別売上高

■ アジア ■ 北米 ■ EMEA(旧欧州) ■ その他



海外事業別売上高

■ 水処理薬品事業 ■ 水処理装置事業

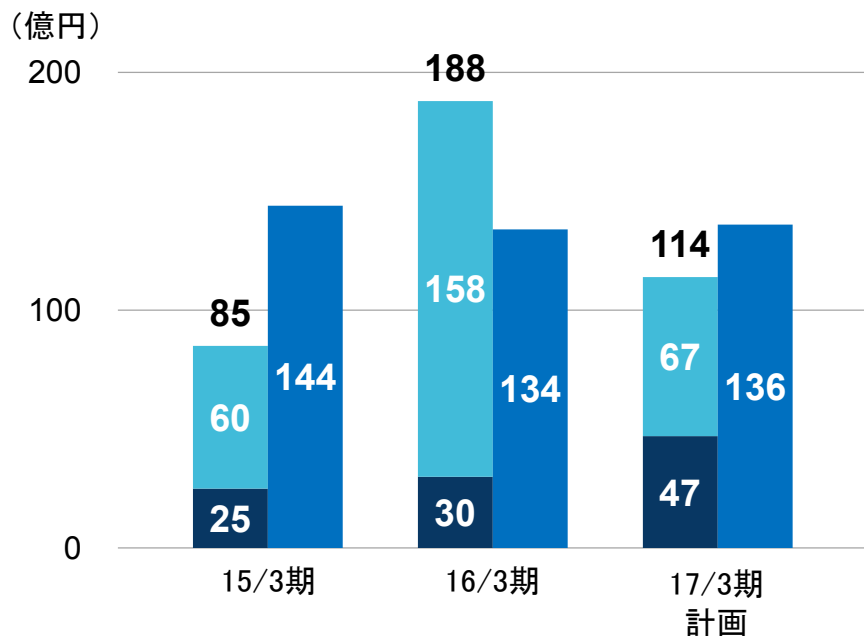


- 水処理薬品事業は円高による円換算額の目減りにより減収を見込む。
- 水処理装置事業は順調な工事進捗により増収を見込む。

* 16/3期より地域区分を変更しました。このため15/3期も遡って変更しています。

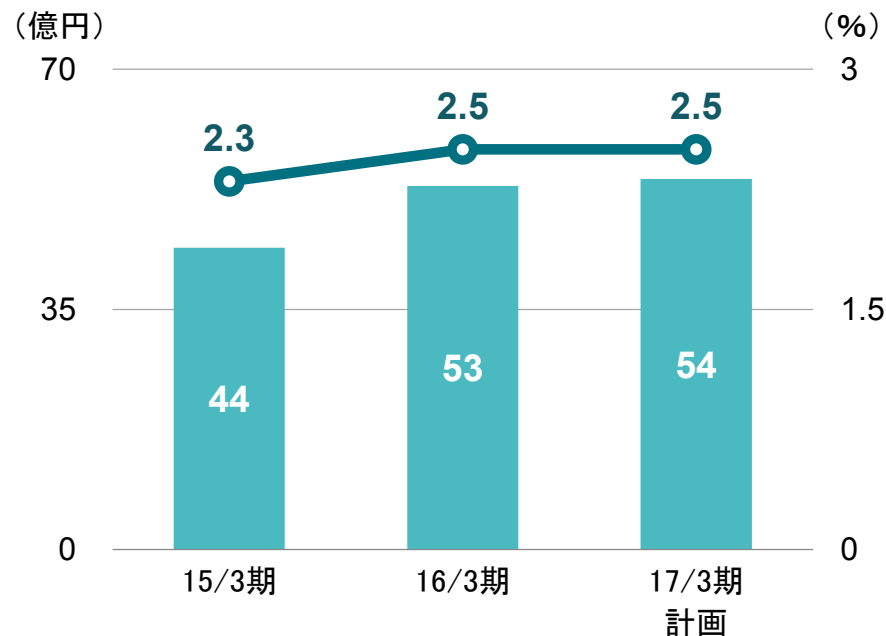
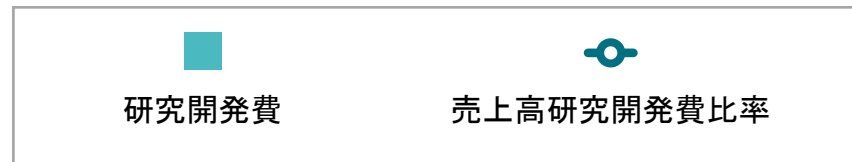
5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資・減価償却費



■ 超純水供給事業向けの設備等は減少の見込み。

研究開発費



■ KEGとのシナジー発揮や新規事業開発に注力。

Ⅲ. 重点施策の進捗について

- 北米におけるM&Aの概要

Ⅲ. 重点施策の進捗について

北米におけるM&Aの概要

会社の概要

名 称 : Fremont Industries, LLC
 所 在 地 : 米国 ミネソタ州 シャコピー
 事業内容 : 水処理薬品の製造・販売
 売 上 高 : 30,940千USDドル(2015年)

買収の狙い

北米における水処理薬品の
事業基盤の獲得

買収の概要

株式取得割合 : 100%
 取 得 価 額 : 約40百万USDドル
 契 約 締 結 日 : 2016年12月19日
 クローリング : 2017年1月3日

* 日付は米国中部時間



- U R L ■ <http://ir.kurita.co.jp/>
- M A I L ■ ir@kurita.co.jp

【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。